

子育て支援・多世代交流複合施設 について

澁谷 政義



〔質問〕施設の管理は、だれが、どのような方法で行うのか伺う。

〔答弁〕【市長】基本的に行政と民間等との役割分担を明確にし、民間事業者の活力を導入して管理運営を行う。当初は委託により管理運営を行い、ノウハウがある程度確立できた時点で指定管理に移行したいと考えている。

〔質問〕管理事業者は公募なのか、または内定しているのか伺う。

〔答弁〕【市長】ノウハウを持つている団体の方々にアプローチをかけているが、現時点で発表できる段階にはきていない。

〔質問〕相応の利用者

その決意を伺う。

〔答弁〕【市長】農商工施設との相互連携がもたらす相乗効果の促進とあわせて、安定的な利用者数・利用料収入の確保、適切な維持管理運営費の支出に努めながら、一般財源の持ち出しを抑え運営を維持していきたい。

◎都市計画道路の見直しについて

〔質問〕本市の第五次白石市総合計画実施計画では、都市計画道路網の見直し案を策定するとあるが、中河原白石沖線の見直しについて伺う。

〔答弁〕【市長】見直しの対象区間をJR東北本線の西側・東側の2区間に分けて検証している。西側の区間は、

JR東北本線をまたぐ計画を平面交差とすることで、沿線・沿道からのアクセスが可能になり、白石川の渡河可能箇所も増加するため、

事業費も含め改善が図られることから、計画存続候補としている。

除排雪・融雪対策について

佐久間 儀郎



〔質問〕委託業者の除雪作業が朝の出勤時には間に合わず、児童・生徒も通学に難儀しているという実態をどう捉えているか伺う。

〔答弁〕【市長】午前7時までに作業を完了するよう努めているが、今後も早めの出勤を委託業者に要請していく。

〔質問〕脇道、枝線の除雪は自治会や地域住民のボランティアに依存しているが、燃料費など幾分かでも市で負担し、奉仕に報いる姿勢があってもよいのではないか。

〔答弁〕【市長】財源の確保、対象路線の選定、作業確認の方法など、

現状では課題があるため大変難しい。

他市町村の支援事例を研究していくが、当面はこれまでどおり、ご協力をお願いしたい。

◎病児・病後児保育について

〔質問〕病気の子どもを一時的に預かる保育事業がある。病児・病後児保育は、究極の子育て支援と考えるが、本市の対応、取り組みについて伺う。

〔答弁〕【市長】先に実施した子育て支援に関する調査の結果報告書において、病児・病後児保育施設等の利用意向については、未就学児で約57%、小学生で約73%の保護者が「利用したいとは思わない」と回答している。

保護者が病気の我が子を病児・病後児保育

に預けるよりも、家庭で看病したいとするあらわれと考えているが、今後はニーズ調査の結果を踏まえ、実態の把握に努めながら慎重に検討していきたい。

◎未収金対策の取り組みについて

〔質問〕住民に対し滞納処分することは、情において忍びないが、一罰百戒の意味を込めて、悪質と思われるものには断固、滞納処分をすべきである。

債権管理条例の運用において、全庁的な方向性を明確化し、一体となって債権管理の適正化に取り組む必要があるが、管理の姿勢を伺う。

〔答弁〕【市長】市税及び市の債権に対しては、公正かつ公平な市民負担を確保するという統一した方向性で考えており、収納管理室を中心に、実務者レベルの講習会を今年度は3回開催している。